

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実施状況

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
1	単	中小企業等事業継続応援事業	①持続化給付金の対象とならない中小事業者等に支援金を支給し、事業の継続や経営の安定化を支援する。 ②【支給要件】2020年1月～12月のいずれかの月の売上額が、前年同月比で20%以上50%未満減少。 【支給金額】上限100千円 ③648件 ④市内企業及び個人事業主	64,679,000	国の持続化給付金の対象とならない、売上減少率が20%以上50%未満の中小事業者等に対して緊急的な応援金を交付し、事業の継続や経営の安定化が図れた。	R2年度	商業振興課
2	単	小規模事業者家賃助成事業	①新型コロナウイルス感染症により、事業活動に影響を受けた小規模事業者の店舗等の家賃の一部を助成し、事業継続の支援を行う。 ②【助成額】1事業者につき6万円 ③393件 ④市内で飲食業等の店舗を営む小規模事業者	23,580,000	飲食店等の小規模事業者に対して店舗等家賃の一部助成を行い、事業者の事業継続を図れた。	R2年度	商業振興課
3	単	緊急対応型雇用創出事業	①新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充及び雇止め又は内定取消しにあった者等の一時的な雇用 ②③令和2年12月から令和3年3月まで(4か月)の3名分 報酬 702千円 時間外報酬 10千円 通勤費用弁償 8千円 共済費 138千円 ④-	857,083	新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充及び雇止め又は内定取消しにあった者等の雇用のため3名雇用した。	R2年度	人事課
4	単	子育て世帯への臨時特別給付事業	①学校の休業により、負担が増加している世帯に対して給付金を支給することにより、負担軽減を図る。 ②③令和2年3月31日までに生まれた高校1年生までの生徒・児童 16,213人×10千円=162,130千円 ④令和2年3月31日までに生まれた高校1年生までの生徒・児童	162,130,000	学校の休業により、負担が増加している世帯に対して給付金を支給することにより、負担軽減を図った。	R2年度	児童家庭課
5	単	準要保護児童生徒給食費支援事業	①小中学校の休業による給食費相当分の援助停止に伴い増加している家計費への負担を軽減するための支援。 ②③小学生 @4,200×524人×2か月=4,401,600円 中学生 @5,000×346人×2か月=3,455,000円(1か月のみ支給した生徒1人) ④準要保護対象児童・生徒	7,856,600	小中学校の休業による給食費相当分の援助停止に伴い増加している家計費への負担を軽減できた。	R2年度	学校管理課
6	単	避難所等感染拡大防止対策事業	①指定避難所等における感染症拡大防止のため対策を図る。 ②③・避難所避難者用間仕切り @6,820×37カ所×5セット=1,261,700円 ・感染拡大防止対策用品備蓄用倉庫 @2,878,000×1台=2,878,000円 ④-	4,139,700	指定避難所に感染防止対策資器材を配備することができた。	R2年度	危機管理課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
7	単	新型コロナウイルス感染症対策庁舎等整備事業	①市の庁舎における感染予防や発生時の対策、また施設設備の改修を行うことで、感染症のまん延を防止する。 ②③ ・飛沫感染防止用ビニール @580×25.2m×1.10=16,077円 ・天井用ビニール止めねじ @1,680×3箱×1.10=5,544円 ・工作材(ビニール加工用) @38×1本×1.10=42円、@58×19本×1.10=1,212円 ・養生用テープ @228×5個×1.10=1,254円、@188×5個×1.10=1,034円 ・窓口用アクリル板 @6,200×3枚×1.10=20,460円、@5,400×2枚×1.10=11,880円 @6,150×5枚×1.10=33,825円、@6,690×40枚×1.10=294,360円 @10,950×30枚×1.10=361,350円、@8,850×10枚×1.10=97,350円 ・本庁舎1階自動ドア起動センサー改修 66,000円 ④-	910,388	本庁舎1階、2階の来客数の多い窓口を中心に飛沫防止用のビニールシートまたはアクリル板を設置することで、来庁者及び職員の飛沫による感染防止に大きな効果が得られた。また、不特定多数の人が出入りする庁舎入口の自動ドアを、スイッチに触れることなく開閉する仕様に変更したことは、庁舎内における感染防止を図るうえで効果的であった。	R2年度	契約管財課
8	単	検診時等における新型コロナウイルス感染拡大防止事業	①集団検診等の保健事業において、受診者の検温の実施や、施設内の消毒等の感染症予防策を講じ、市民の安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③ ・ペーパータオル@350×77箱=26,950円 ・ポリエチレン袖付きエプロン@165×200=33,000円 ・除菌用ウェットタオルウイルス除去(110枚×24本入り)@1,254×4箱=5,016円 ・アクリルパーテーション@4,800×5ヶ×1.10=26,400円 ・アクリルパーテーション@5,500×3ヶ×1.10=18,150円 ・色上質紙中厚A4ピンク @960×33箱×1.10=34,848円 ・除菌ウェットタオル @4,560×1ヶ×1.10=5,016円 ・次亜塩素酸水 @5,000×1ヶ×1.10=5,500円 ④-	154,880	集団検診や窓口対応等において、感染症予防策を講じることで市民の安全確保と感染症のまん延を防止することができた。	R2年度	健康増進課
9	単	感染防止資機材等整備事業	①市庁舎や集団検診、避難所、救急出動等において、感染予防や発生時の対策を講じ、感染症のまん延を防止する。 ②③ ・非接触型体温計(集団検診3台、救急出動等11台、避難所用37台) @9,042×37台=334,554円、@18,150×14台=254,100円 ・避難所感染対策用医薬品セット@4,695×38カ所=178,410円 ・サーマルカメラ(市庁舎用) @279,800×3台×1.10=923,340円 ・マスク@680×644箱×1.1=481,712円 ・(消毒用)アルコール @1,690×385個×1.1=715,715円 ・(消毒用)アルコール @9,900×5ℓ=49,500円 ・パルスオキシメータ@8,668円×7個×1.1=66,743円 ・感染防止資機材保管倉庫設置 @880,000円 ④-	3,884,074 契約管財課分 契約管財課分 923,340 危機管理課分 767,064 健康増進課分 2,193,670	契約管財課分(サーマルカメラ) 不特定多数の人が出入りする庁舎入口にサーマルカメラを設置することで、来庁者及び職員が自ら検温し、自身の健康状態を把握できるようになり、庁舎内での感染拡大を未然に防ぐことに効果があった。 危機管理課分 指定避難所等に非接触式体温計及び感染防止用医薬品を配備できた。	R2年度	契約管財課 危機管理課 健康増進課
10	単	廃棄物処理業務継続支援事業	①新型コロナウイルス感染予防のため業務継続に不可欠なマスクの不足分を供給する。 ②③ 【供給枚数】14,000枚(クリーンセンター分4,000枚、委託業者分2,000枚×5地区) 【事業費】マスク購入費:606,991円 ④ 東部クリーンセンター及び南部クリーンセンター職員、ごみ収集業務委託業者(3社5地区)	606,991	市民生活を維持するために必要不可欠な一般廃棄物の処理について、新型コロナウイルス感染症が拡大する中であっても、安定的に業務を継続することができた。	R2年度	クリーン推進課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
11	単	新型コロナウイルス感染症救急搬送対策事業	① 救急出動、救助出動の際に、隊員及び患者家族等への感染防止対策に必要な資機材の整備。 ②③ ・感染症患者隔離搬送用バッグ一式@255,000円×2セット×1.1=550,000円、ディスポバッグ・ディスポフィルター@98,600円×3セット×1.1=325,380円、感染防止衣(上)@830円×3,200着×1.1=2,921,600円、感染防止衣(下)@490円×3,100着×1.1=1,670,900円、感染防止用マスク(患者、家族用)@1,200円×200箱×1.1=264,000円、目用防護具アイガード@13,000円×5箱×1.1=71,500円、感染防止用シート@27,600円×19箱×1.1=576,840円、飛沫感染防止用養生シート@368円×100枚×1.1=40,480円、養生用テープ(養生シートによるカーテン設置用テープ)@278円×45個×1.1=13,761円、感染症防護対策キット@2,200円×100セット×1.1=242,000円、感染防止手袋@3,500円×15ケース×1.1=57,750円、シューズカバー(感染防止用)@1,200円(50枚入り)×3袋×1.1=3,960円、@16,000円(1,000枚入り)×4ケース×1.1=70,400円、ストレッチャーカバー@12,000円×12箱×1.1=158,400円、炭酸ガス充填@2,500×9本×1.1=24,750円、消毒用エタノール(1缶16ℓ)@25,500円×5缶×1.1=140,250円、消毒用エタノール(500ml×20本)@16,000円×1箱×1.1=17,600円、ピューラックス(600ml)(次亜塩素酸ナトリウム)@550円×14個×1.1=8,470円、消毒用アルコール綿(1箱100包入)@550×9箱×1.1=5,445円、クレベリン(除菌スプレー)@2,000円×25個×1.1=55,000円、人工鼻フィルタ(気道確保資機材に接続する除菌用フィルタ)@38,000円×3箱×1.1=125,400円、医療廃棄物処理委託料@2,300円×39箱×1.1=98,670円、シャットノクス ミニ(噴霧消毒機)@385,000円×2台×1.1=847,000円、自動手指消毒器@68,800円×1台×1.1=75,680円、アイソレーター(感染症患者隔離搬送用バッグ)@1,516,000円×3個×1.1=5,002,800円 ④-	13,368,036	救急資器材の整備により、救急出動及び救助出動時、隊員及び患者家族等への感染防止対策に効果があったもの。	R2年度	警防指揮課
12	単	ポストコロナ時代将来展望基礎調査	① 新型コロナウイルスの影響により加速する社会変革を見据え、新たな働き方や生活様式、多角化する産業構造や社会動向をとらえるための調査研究を行い、雇用の創出等のための支援策を講じる足掛かりとし、それを通じて移住・定住の促進を図る。 ②③ 調査研究委託費 2,926千円 ④-	2,926,000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、市内企業へのアンケート調査やヒアリング調査、全国的な社会状況の調査、東京都、埼玉県、千葉県等の企業に対するサテライトオフィスに関する意向調査を実施した。また、本市に対する提言の報告もあったことから、可能なものについては、今後の施策等に活用していく予定である。	R2年度	総合政策課
13							
14	単	サテライトオフィス整備事業費補助事業	① 企業が取り組む従業員のワークライフバランス充実の支援と新たな働き方を促進する。 ② 空き物件をサテライトオフィスに改修するために係る経費 ③ 【補助額】上限2,000千円(補助率2分の1)【実績件数】5件 ④ 空き物件を活用してサテライトオフィスを開設する企業及び空き物件の所有者	5,192,000	・当事業の補助を受け空き物件の有効利用を促進するとともに、コロナ禍での三密回避や働く場所の選択、新たな働き方が実践できるようになった。	R2年度	工業振興課
15	単	布製マスク配布事業	① 繊維のまちの強みを活かした市独自の支援策として、布製マスクを配布し感染症予防対策の充実を図るもの ②- ③【配布内容】小中学生:1人2枚、妊婦:1人3枚 小学校13,012枚 中学校7,090枚 特別支援学校360枚 白鷗大学足利中学校276枚 計20,738枚 妊婦3,300枚 【事業費】マスク購入費:7,238,700円 通信運搬費:38,000円 合計7,276,700円 ④市内小中学生及び妊婦	7,276,700	令和2年度当初、新型コロナウイルス感染症が流行する中、マスク入手が困難な状況が続いた。妊婦や子どもたちなどへの感染症予防対策が喫緊の課題とされていた時期に、繊維のまちの強みを活かした布製マスクを配布したことで、市民の不安軽減と感染症予防対策の一助となったと思われる。	R2年度	健康増進課
16	単	子どもの居場所を支援する事業	① 日常生活においても、日々新型コロナウイルスへの感染が高まる中、子どもが安全に生活できる居場所を提供し、感染リスクの低減を図るために活動している放課後等デイサービス事業所、放課後児童クラブ、民間保育園等に対して支援金を支給し、子どもの居場所の確保に向けた取り組みを支援する。 ②③ 1事業所につき100千円×101事業所=10,100千円 ④ 放課後等デイサービス事業所、放課後児童クラブ、民間保育園等	10,100,000	感染が拡大するなか、本市の子どもの居場所の確保に向けた取り組みについて、更なる支援の向上に役立った。	R2年度	こども課 児童家庭課 障がい福祉課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
17	単	雇用対策支援金事業	① 経営が厳しい中でも、「雇用調整助成金」を活用し労働者の雇用の維持を図ろうとする中小事業者を対象に、支援金を支給し雇用の維持を支援する。 ② 1事業者当たり100千円 ③ 479件 ④ 市内中小企業者で雇用調整助成金の申請を行った事業所	47,900,000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業活動の縮小が余儀なくされる中でも、国の雇用調整助成金を活用する市内の中小企業者に対し支援金を交付することにより、労働者の失業予防及び雇用の維持を支援することができた。	R2年度	商業振興課
18	単	足利グルメ応援チケット事業	① 客足が減少している飲食店を応援するため、飲食代金の先払いチケットを販売する。 ・5,000円分のチケットを、4,500円で販売。 ・500円分は飲食店が負担。 ・実行委員会は参加店舗に奨励金(10千円)を交付。 ②③ 参加店舗奨励金:1,350千円(@10千円×135店舗) 宣伝広報費:490千円 事務費:80千円 ④ 足利グルメ応援チケット実行委員会	1,919,616	当事業の最大の利点且つ事業の根幹は、コロナ禍で外出自粛要請が行われた中であっても、チケットの換金作業が不要で現金がすぐに手元に入るため店舗の資金繰り改善につながることで、応援チケットを使い市内の店舗で飲食をしてもらう市民による応援の仕組みをつくることである。 参加店舗を対象にアンケートを実施した結果、販売期間、資金繰りの改善、利用者の反応、事業内容については過半数以上の事業者から一定の評価をいただいたことから、外出自粛が行われていた状況下での当事業における所期の目的は達成できたと考えられる。	R2年度	観光振興課 商業振興課
19							
20	単	足利渡良瀬ゴルフ場維持管理体制持続化事業	① 市からの要請により休業した、足利渡良瀬ゴルフ場の指定管理者に対し、支援金を支給し、事業継続や経営安定化を支援する。 ②③ 1日当たり支援金:144千円、休業要請期間:4月13日から5月6日(24日間) 144千円×24日間=3,456千円 雇用調整助成金等(減)508千円 3,456千円-508千円=2,948千円 ④ 足利グリーンサービス株式会社	2,948,000	市からの要請により休業した期間(24日間)の維持管理経費を助成し、指定管理者は安定した事業経営を行うことができた。	R2年度	市街地整備課
21	単	水道料金軽減事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民や法人等の負担軽減を図るため、水道料金を軽減する。 ② 水道事業会計に繰り出し、基本料金2か月分の減免に係る費用 ③ 基本料金2か月分 123,063千円 水道料金システム特別処理業務委託料 1,760千円 周知チラシ印刷委託料 149千円 ④-	124,972,260	全水道使用者を軽減対象にしたことにより、市民生活や事業者等の社会経済活動の支援に一定の効果があった。	R2年度	総合政策課 企業経営課
22	単	安心のまち足利ブランド構築事業	① 市制100周年と併せて、コロナ禍でも「訪れて安心なまち足利」としてPRするとともに、コロナ対策と観光振興・経済回復の両立を目的に、コロナ対策オンラインセミナーの開催、ポストコロナ期のための体験型コンテンツ開発企画を行う。 ②③ 「安心のまち足利」ブランド構築事業費 3,025,000円 ・コロナ対策オンラインセミナー経費 ・体験型コンテンツ開発企画経費 外出自粛啓発に関する委託料 800,000円 ④-	3,825,000	体験型コンテンツの開発は、より実践的な講座を通じ、市内事業者の企画力を更に強めることができた。コロナ対策オンラインセミナーは、80名を超える方に視聴いただき、すぐろくを活用した外出自粛啓発の取り組みも多くのメディアに取り上げられ相乗効果が得られた。	R2年度	まちの魅力創出課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
23	単	キャッシュレス決済普及促進事業	① キャッシュレス決済を普及させることで、現金の受け渡し時の感染防止につなげるとともに、ポイント還元を行うことで、事業者に対しては市内消費の喚起による経営支援、生活者に対してはポイント付与による家計支援を行うもの。 ②③ キャッシュレス決済サービス運営会社委託料 30,993千円 チラシ作成・新聞折込業務委託料 261千円 懸垂幕作成費用 98千円 ④ キャッシュレス決済サービス利用者運営会社等	31,352,404	市内店舗で買い物をする際、現金受け渡し時の感染防止を図ることができたとともに、利用者・加盟店数がいずれもキャンペーン開始前より増加したことから、キャッシュレス決済を利用した消費の拡大と将来の普及に大きな効果が得られた。 市民からは、下記の声をいただいた。 ・アプリの導入、登録が簡単だった。 ・普段買い物をするお店でも利用できたので、利用しやすかった。 ・キャンペーン開始前に「キャッシュレス決済利用者向け説明会」が実施され、スマートフォンの使い方からキャッシュレス決済の利用方法を学ぶことができ、いい機会となった。 ・還元率がいいが、上限額が低いためすぐに達してしまう。もう少し上限額をあげてほしい。	R2年度	総合政策課
24	単	職員等感染症対策事業	① コロナウイルス感染第2、3波に備え、職員、市民への感染防止を図るため必要な物品を購入し備える。 ②③ ・使い捨てマスク @11.2×職員1,260人×20日×3か月×1.1=931,392円 ・フェイスガード @220×200枚×1.1=48,400円 ・手指用アルコール消毒液 @1,198×120か所×4本×1.1=632,544円 ・非接触型体温計 @3,700×43か所×1.1=175,010円 ・非接触型体温計用アルカリ電池 @290×22パック+@300×21パック=12,680円 ・ビニール手袋 @454×100か所=45,400円 ④-	1,845,426	各物品を必要数購入し、出先機関を含む各職場に配付することができた。 使い捨てマスクに関しては、さらなる感染拡大時に備え備蓄した。	R2年度	人事課
25	単	災害情報共有システム導入事業	① 感染症等に対応し、遠隔で災害情報や避難情報、物資調達・管理を行う防災クラウドシステムの構築を図る。 ②③ ・防災クラウドパッケージ初期設定費用 @1,650,000×1式=1,650,000円 ・防災クラウドパッケージ運用費用 @26,612×1か月=26,612円 ④-	1,676,612	災害時に遠隔で災害情報を共有できるシステムを構築できた。	R2年度	危機管理課
26	単	避難所等感染拡大防止対策事業(追加)	① 指定避難所等における感染症拡大防止のため対策を図る。 ②③ ・感染防護エプロン(15枚入り) @2,590×38箱=98,420円 ・間仕切りテント @6,820×215セット=1,466,300円 @7,150×220セット=1,573,000円 @6,980×80セット×1.1=614,240円 @6,820×30セット=204,600円 @6,600×10セット=66,000円 ・段ボールベッド @5,825×37カ所×10セット×1.1=2,370,775円 ・簡易エアベッド @3,278×37カ所×5セット=606,430円 ・保管用倉庫 @777,346×26カ所+4円(端数)=20,211,000円 ・非接触式体温計 @11,294×37カ所×1.1=459,665円 ④-	27,670,430	指定避難所に感染防止対策資器材を配備することができた。	R2年度	危機管理課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
27	単	公衆無線LAN整備事業	① 自宅にインターネット環境がない市民のために市有施設に無料で利用できる公衆無線LANを整備する。コロナ感染拡大時に児童生徒や学生が利用できる環境を構築する。 ②③ 設置場所：先行して整備する小中学校、消防署を除く22施設 ※本庁舎、生涯学習センター、さいこうふれあいセンター、17公民館、市立図書館、市民プラザ 管理システム設計構築費 @3,498,000×1式×1.1=3,847,800円 アクセスポイント機器代 @4,283,200×1式×1.1=4,711,520円 アクセスポイント設置工事費 @6,500,000×1式(22施設、40台)×1.1=7,150,000円 光回線引き込み工事費 @6,609,000×1式(22か所)×1.1=7,269,900円 光回線費 ((@3,120×18か所)+(@3,400×1か所)+(@3,900×3か所))×1.1=78,386円 ④－	23,057,606	22施設、40か所に無線APを設置。 令和3年4月1日からサービスを開始。 生涯学習センター、さいこうふれあいセンター、市立図書館等、学習用のスペースで多く使われている。 今後は、全小中学生に配布されたタブレット端末での利用も予定されている。感染症対策として休校になった際に、自宅にインターネット環境がなくても市有施設で学習が可能となる。	R2年度	情報政策課
28	単	庁内LAN無線化整備事業	① 本庁、公民館等で職員が利用している情報系、インターネット系のネットワークを全て有線から無線に変更する。今後のコロナ感染拡大時に職員が場所を選ばずに業務遂行できる環境整備を行う。 ②③ 無線LAN化事前調査 @1,821,000×1式×1.1=2,003,100円 無線AP・コントローラー・PoE対応ハブ @8,379,020×1式×1.1=9,216,922円 RADIUSサーバ @1,817,000×1式×1.1=1,998,700円 無線AP用配線工事 @6,700,000×1式(50台)×1.1=7,370,000円 サーバ等設定委託費 @17,719,000×1式×1.1=19,490,900円 ④－	40,079,622	本庁舎、別館、教育庁舎に計50機の無線APを設置。 端末設定を完了した端末から順次利用開始し、令和3年3月下旬には、共通的なネットワークでは、個人情報扱う基幹系以外のすべての端末にて開始している。 これにより、LANケーブルによる制約がなくなり、日常業務や集合会議・研修等において、職員間がより広い間隔を空けて行うことができている。	R2年度	情報政策課
29	単	リモート会議等環境整備事業	① 遠隔地との会議や打合せ等をオンライン上で実施できる仕組みを構築する。セキュリティ確保のための有料アカウント、カメラ、マイク、スピーカー、モニター、タブレット等の機材、ネットワーク環境を整備する。 ②③ 有線LAN工事費 @100,000×7か所×1.1=770,000円 Webカメラ @2,680×30台×1.1=88,440円 無指向性マイク @26,180×5台×1.1=143,990円 会議室設置用モニタ(大) @133,100×1台×1.1=146,410円 会議室設置用モニタ(小) @72,540×6台×1.1=478,764円 HDMI分配器 @35,680×1式(3台)×1.1=39,248円 HDMIケーブル @990×15本×1.1=16,335円 タブレット本体 @115,640×50台×1.1=6,360,200円 保管庫 @105,000×2台×1.1=231,000円 HDMIコネクタ @2,180×4個×1.1=9,592円 ④－	8,283,979	リモート会議等を行える環境を構築したことで、対面での会議や打ち合わせ等の機会を減らすことができた。また、会議や打ち合わせでのタブレットの活用により、業務の効率化や印刷コストの低減を図ることができた。	R2年度	情報政策課
30	単	AI-OCR推進事業	① 各種コロナ対策事業の実施に伴う申請書類の効率的な処理(紙媒体を電子データ化する)を行うとともに、それによって生じる人的リソースをコロナ対策に充てる。 ② スキャナ購入費 @292,000×1台×1.1=321,200円 ③ 月額使用料 @100,000×3か月×1.1=330,000円 スキャナ購入費 @292,000×1台×1.1=321,200円 ④－	651,200	5つの業務でAI-OCRの導入を実施。 (図書館の読書アンケート集計業務、人事課の職員健康診断結果票処理業務など) 平均70%の稼働を削減することができた。	R2年度	情報政策課
31	単	民間保育所等従事者応援事業	① 保育士、幼稚園教諭、放課後児童クラブ指導員等、感染症対策をしながら休園出来ない中で勤務した方を支援する。 ②③ 1,153名×10千円=11,530千円 通信運搬費 16,920円 ④ 放課後児童クラブ、民間保育園、認定こども園、地域型保育事業所、認可外保育施設、新制度幼稚園、私学幼稚園	11,546,920	緊急事態宣言中において、感染リスクを抱え、精神的、身体的な消耗や負担を負いながら従事した者に対し慰労金を支給したことにより、更なる士気の高まりや使命感を持って対応いただいた。	R2年度	こども課 児童家庭課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
32	単	8か月児個別検診事業	①8か月健診について、密閉空間、密集場所、密接場面を避けるために、集団健診から医療機関における個別健診に切り替え、新型コロナウイルス感染症のまん延の予防を図るもの。 ②③健康診査委託料 @5,500円×249人分(12月～3月対象者分)1,369,500円 通信運搬費 14,528円 ④委託先 足利市医師会に所属する指定医療機関	1,384,028	8か月児健診を医療機関で受診することで、3密が回避でき、保護者が安心して健診を受けることができ、まん延防止に努めることができた。	R2年度	健康増進課
33	単	インフルエンザ予防接種助成事業	①新型コロナ感染症の第2波、第3波がインフルエンザ流行時期に重なると、インフルエンザ患者対応や治療とで医療機関の負担が増大することから、医療体制維持と市民の安心安全のため、インフルエンザの重症化予防の効果がある予防接種の費用助成を行う。 ②③インフルエンザ予防接種受診者助成金 @1,000円×44,167人分=44,167,000円 印刷製本費(予診票) 316,448円 ④接種者(未成年の場合は、その保護者)	44,483,448	接種費用を助成することで、インフルエンザの流行、重症化を防ぐことができ、医療体制の維持につながった。	R3年度	健康増進課
34	単	医療機関等支援事業	①新型コロナウイルス感染症まん延予防に係るマスクや防護服等の衛生器材等を準備することで、今後の第2波、第3波を見据えた体制整備を行う。 ②③PCR検査センター開設支援金 3,000千円 医師会 6,000千円 歯科医師会 4,000千円 薬剤師会 1,000千円 看護師会 500千円 歯科衛生士会 500千円 ④足利市医師会、足利歯科医師会、足利薬剤師会、足利市看護師会、足利市歯科衛生士会	15,000,000	市内の医療機関等における新型コロナウイルス感染症に対し、最前線で従事されている医療機関等へ、さらなる感染症のまん延防止対策・体制整備等に役立てていただくことができた。	R2年度	健康増進課
35	単	新しい生活様式普及啓発事業	①新型コロナウイルス感染症の第2波に備えるため、新しい生活様式の徹底のためのチラシを作製し、市民に周知することで感染症のまん延予防を図る。 ②③チラシ@2.63×57,000枚×1.1=164,901円 ④-	164,901	新型コロナウイルス感染症の第2波に備えるため、新しい生活様式の普及のため、チラシの全戸配布を行うことで、市民に対して感染症のまん延防止に対する啓発を行うことができた。	R2年度	健康増進課
36	単	健康二次被害対策事業	① 外出自粛要請等で運動不足となってしまう市民が、新しい生活様式で運動できるよう、スマホ版のウォーキングアプリを活用した健幸マイレージ「足すと」で歩いてもらう等、健康二次被害の予防対策を講じる。 ②③④◆【スマホ版健幸マイレージ「足すと」】…参加者 3,554人 歩いて貯めたポイントで小学校に図書を寄附でき、セブンイレブンのコーヒー等がプレゼントされる取組。 ○足すとポイント交換委託料 @30円×28,386件=851,580円 ○小学校への寄贈図書代 711,590円(小学校22校 466冊) ○チラシ・ハガキ代・シール等 242,677円 ○「足すと」×ほろにがウォーク補助金 340,000円 (飲食代@500×20人×24店舗、チケット・チラシ・ポスター作製費70,000円、ノベルティ作製費30,000円) ◆【健幸マイレージ】…参加者 1,375人 ○景品:JAお買物券2000円分100人、シネマギフトカード3,000円分100人、クオカード1,047.7円(1000円分)100人、キッズピア招待券1000円分50人 合計654,770円 ◆【緊急事態宣言 健康二次被害予防チラシの配布】…新聞折込 41,600世帯 ○印刷用紙代 95,172円 ○新聞折込手数料 155,584円 ◆【健幸アンバサダー養成】…受講者7人 正確な健幸情報を、大切な仲間や家族に伝える伝導師養成 ○スマートウェルネスコミュニティ協議会入会金 12,500円 ○健幸アンバサダー受講認定料 @1,100×7人=7,700円	3,071,573	・ 新型コロナ感染症拡大防止のための、外出自粛要請や市有施設の貸出し休止や制限、運動・スポーツのクラブ活動の休止、体育祭やスポーツ・レクリエーション大会の中止から、全世代にわたり、心身の健康の不調や筋力の低下、高齢者の認知機能の低下等の健康二次被害が顕在化しています。 ・ そのような中、左記の新しい生活様式で、約5,000人の市民が日々運動を継続していただけたことは、健康二次被害の予防に繋がっていると思われます。 ・ 特に、スマホ版健幸マイレージ「足すと」については、参加者数が3,554人(取組前の7倍)、1日の平均歩数(11月)4,583歩(取組前の35%増加)と、多くの市民に、より多く歩いていただけたことは、コロナ禍での健康保持増進に繋がっていると考えられます。 【「足すと」参加者の感想】 ・ 「楽しく歩くようになった。小学校に図書を寄附できるのが歩くモチベーションに繋がった」(20歳代女性) ・ 「生活習慣を気にするようになり体重減量に成功した。今後も楽しみながら歩きたい」(50歳代男性) ・ 「グループで運動ができなくなりましたが、孫の学校に図書を寄附できるので歩く励みになった」(70歳代男性)	R2年度	健康増進課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
37	単	妊婦応援給付金事業	① 新型コロナウイルス感染症への不安で大変な思いをされている妊婦に対し、安心して妊娠期を過ごし、出産、子育てに臨めるように、その感染予防対策費用として、5万円の応援給付金を給付する。 ②③ 給付額 @50千円×618人=30,900千円 申請書等印刷代 8千円 郵送代 120千円 ④ 令和元年8月15日から令和2年7月31日までに母子健康手帳の交付（妊娠届出書等で基準日の妊娠が確認できる場合も含む）を受けた妊婦（ただし、令和2年4月27日までに出産した妊婦を除く）	31,027,576	対象となる妊婦の方のうち約96%の方に給付を行い、新型コロナウイルス感染症対策をしながら妊娠期を過ごされた方に、広く支援を行うことができた。 また、このような支援に対し妊婦の方からは、コロナ禍において励みになったという声が多かった。	R2年度	総合政策課
38	単	新型コロナウイルス感染症対策事業	① 市庁舎（市民課等）、斎場、行政サービスセンター、消費生活センターにおける感染予防の対策を講じ、感染症のまん延を防止する。 ②③ ○斎場用感染防護服 100セット @2,420×4人×25回=242,000円 ○行政サービスセンター、消費生活センター用アクリルパーテーション 窓付きタイプ：@6,380×19枚=121,220円 袖付きタイプ：@6,250×10枚=68,750円 ○本庁舎1階・2階、斎場、行政サービスセンター用空気清浄機 15畳用：斎場用7台 @35,420×8台=283,360円 39畳用：本庁舎1階・2階14台、斎場8台、行政サービスセンター2台 @84,480×24台=2,027,520円 ④ -	2,742,850	市庁舎・斎場・行政サービスセンター・消費生活センターにおいて、市民及び職員の感染症まん延防止が図られている。	R2年度	市民課
39	単	生活路線バス感染症予防対策事業	① 生活路線バスの感染症予防対策に係る経費（マスク、消毒液、飛沫感染防止用備品、清掃費、社内教育等）に対し、奨励金を支給する。 ②③ @100,000×11台=1,100,000円 ④ 生活路線バス運行事業者（足利中央観光バス㈱、足利タクシー㈱、関東自動車㈱足利営業所）	1,100,000	運転手へのマスク・消毒液の配布、適正使用方法の社内教育、運転席廻りの仕切りカーテンの取付け、運行終了後の車内消毒、オゾン発生器による車内除菌、抗菌・抗ウイルス車内コーティング等を実施した。 事業の実施により、運転手からは「安心して乗務を行うことができる」、乗客からは「しっかりと対策を実施してありがたい」といった声があった。	R2年度	市民生活課
40	単	長期経営対策資金	① 新型コロナウイルス感染症の影響により資金繰りに支障をきたしている中小企業者への支援。 ②③ 【支援内容】 利子補給金：45件、1,125,290円 ④ 市内中小企業者	1,125,290	資金調達経費を軽減することで、資金繰りに支障をきたしている中小企業者を支援することができた。	R2年度	商業振興課
41	単	ICT普及促進事業	① 新生活様式に対応したweb会議システムやテレワークについてのセミナーの開催と備品整備への補助を行う。 ② 普及啓発セミナー委託料：2,046千円、設備費補助金：1,621千円 ③ 普及啓発セミナー：参加者34名（社）、設備費補助金：95件 ④ 市内中小企業者	3,667,000	新型コロナウイルス感染症の感染対策が求められる中、接触を回避した新たなコミュニケーションツールである「WEB会議システム」の活用促進を図ることができた。 また、WEB会議において問題となりがちな音声トラブル等を解消するため、パソコン周辺機器の導入を促進し、WEB会議環境の向上を図ることが出来た。	R2年度	商業振興課
42	単	事業者連携応援事業	① 事業者等が売上改善や地域における消費喚起のため、連携して取り組む事業に対して応援金を支給する。 ② ・連携する事業者1者につき100千円（1グループ上限1,000千円） ③ 7件 ④ 複数の市内中小企業者が連携するグループ	3,105,000	新型コロナウイルス感染症による行動制限等で売上減少の影響を受けた市内中小企業者がグループを組んで、ウィズコロナに対応した新たな事業を行ったものに交付を行い、地域におけるビジネスの拡大や経済的な活性化を図った。	R2年度	商業振興課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
43	単	働き方改革促進支援事業	① 新たな働き方へ対応する事業所やテレワークにより仕事を行う労働者が取り組む働き方改革の推進を支援する。 ② i : 新たな働き方に対応するために必要な事務所等整備費 ii : 新たに賃貸借契約を締結した事務所等の家賃(最大6ヶ月分) ・補助額: 上限1,000千円(i・ii の合計、補助率1/2) ③ 【実績件数】21件 ④ i : 市内に事業所を有する中小企業者、ii : 市内に事業所を有する中小企業者及び市内在住の個人	12,602,000	・会社内での感染防止や新たな働き方の検討を当事業の補助により実践することができ、職場環境の向上が図られた。 ・ワーキングスペースの賃料の補助により、テレワークを行う場所の確保と多様な働き方が実践できるようになった。	R2年度	工業振興課
44	単	新型コロナウイルス感染症対策支援事業	① 栃木県が提唱する「新型コロナウイルス感染防止対策取組宣言」を行った市内事業者に対し、支援金を交付する。 ② ・栃木県の「新型コロナウイルス感染防止対策取組宣言」に参加している事業者に対し、支援金を交付。 ③ 4,492件(うち個人事業主:2,380件、法人:2,112件) ④ 市内中小企業者	330,200,000	栃木県が展開する「新型コロナ感染防止対策取組宣言」運動に基づく対策を実施した市内の中小企業者に対し、支援金を交付することにより、感染症拡大防止に関する取り組みの推進を支援し、中小企業者の事業継続を図れた。	R2年度	商業振興課
45	単	アフターコロナ観光振興事業(観光資源魅力磨き上げ事業)	① 新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、3密を避けた新しい着地型観光として、自転車での市内回遊を促進する。 足利の魅力ある里山や山間部施設への周遊も可能となるよう、快適で乗りたくなる電動自転車を充実させる。 ②③ レンタサイクル整備費: 車両購入2,235,320円(計19台)、自転車保管庫整備: 3,410,880円、パンフレット作成費: 373,120円、 ④ (一社)足利市観光協会	6,000,000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、密閉、密集、密接(3密)を回避する移動手段の一つである自転車利用の需要増加に対応できる車両台数、また、ファッショナブルな自転車やバッテリー搭載の自転車を整備したことで、観光客のニーズに対応できるレンタサイクル運営を図ることができた。 自転車用ガレージを設置することで、整備に伴い増加する車両保管に対応することができ、風雨をさけて管理することができるようになった。 既存のマップを最新の情報に改訂することで、利用者が迷うことなく市内を容易に散策できるようになった。	R2年度	観光振興課
46	単	アフターコロナ観光振興事業(銘仙で市内周遊促進事業)	① 新型コロナウイルスの収束を見据え、着物着付け体験の感染症対策を講じることで、体験者の安心・安全を確保する。 商品券等を体験者特典とすることで、消費活動を促進させる環境を整える。 ②③ 着物等購入費: 1,471,683円、パンフレット作成費: 199,650円、体験者特典: 115,500円、コロナ対策施設整備費: 213,800円 ④ (一社)足利市観光協会	2,000,000	着物のレンタル事業において、着物や小物の消毒作業は不可欠であるため、着付会場をはじめ、着物や小物類などの消毒を徹底した。また、洗濯できない着物であるため、数量を増やすことで、消毒時間を長く確保することができた。お客様アンケートでは、感染症対策が徹底されており、安心して利用できた、という声を多数いただいている。	R2年度	観光振興課
47	単	アフターコロナ観光振興事業(観光事業者応援ツアー事業)	① 足利市の魅力を満喫できる着地型ツアーの造成を行い、ツアーを通して、バス事業者、土産店、飲食店を支援する。 対象: 東武伊勢崎線沿線の住民(1回あたり中型バス15人。三密予防) ②③ 広告掲載費: 810,700円、商品券等負担金: 343,565円、バス借り上げ料: 504,150円、販売手数料: 22,540円、消耗品費: 1,302円、事務費: 510,443円 ④ (一社)足利市観光協会	2,000,000	様々なコースの着地型ツアーを実施することで、飲食店や土産品店、運行事業者等の観光事業者を広く支援するとともに、参加者に足利の観光資源を満喫して頂いた。また、駅からスタートするツアーを設け、県外からも参加しやすい環境を整えたことで、新たな誘客手段の一つとすることができた。	R2年度	観光振興課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
48	単	アフターコロナ魅力プロモーション事業	①観光需要回復時に「訪れたい足利」となるよう国内外へのPR事業を行う。 (1)デジタルメディア広告事業 「安心安全な足利観光」をPRするため、facebook、Instagramを利用して国内Web広告を実施。 (2)観光動画PR事業 観光PR動画を制作し、YouTube等への配信を行い、足利観光を広くPR。 (3)あしかが『美』食まつり事業 ・落ち込んだ売上を回復させるため、市内飲食店・宿泊施設向けに誘客及び市内回遊を支援する事業を実施。 ②③ (1)Web広告費:2,530,000円 (2)動画作成費:8,889,500円 (1)(2)に係る諸経費:1,610,000円 (3)印刷製本費:1,000,000円 ④ (一社)足利市観光協会	14,029,500	デジタルメディア広告事業では、制作した動画がインターネット上で広く視聴されるよう、FacebookとInstagramを活用し、広告事業を行った。結果、実施前と比べ、閲覧者数は大幅に増加し、本市への来訪意欲を喚起する一助とすることができた。 また、観光動画PR事業では、文化財や足利銘仙等、市の魅力的で特色のあるコンテンツを使用し、ストーリー性のある動画を制作した。動画は、新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド来訪者の増加を見据え、4ヶ国の言語バージョンで制作を行った。	R2年度	観光振興課
49	単	市産花き活用拡大支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、花きの需要喚起と活用拡大支援を行う。 市内公共施設において、連続した花飾りを実施する。 ②③ 市内公共施設5カ所にて飾花を12/11(金)から実施。12月5カ所×3回(12/11、17、25)、1月5カ所×3回(1/7、14、21)。 実施後事業実施主体である花咲くとちぎ推進協議会に負担金として支出。(負担金=花代-(市場価格/2)) ④ 負担金合計 119,873円 なお、足利市は取組主体となる。 ④ 花咲くとちぎ推進協議会	119,873	公共施設5カ所に足利市産花きをメインにしたアレンジメントを展示し、足利市が花きの産地であることを周知することができた。	R2年度	農政課
50	単	公開型GIS(都市計画検索システム)導入事業	①テレワークの推進及び利用者の利便性向上を図り、窓口での三密を回避するため、都市計画情報のオンライン取得システムを導入する。 ②③ 都市計画等検索システム導入費:14,278千円 搭載データ修正費:968千円 ④-	15,246,000	都市計画及び市道に関する情報をインターネットを利用して提供することで、市役所に来庁することなく、さらに市役所の開庁時間に影響されずに必要な情報を取得することが可能となり、利用者の利便性が向上するとともに、窓口での密を防ぐことで、新型コロナウイルスの感染拡大防止に資することができたと考えられる。	R3年度	都市計画課
51	単	施設補修事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響による解雇等により、住宅の退去を余儀なくされた方などに対して、市営住宅を一時的に提供するための修繕を行う。 ②③ ・千歳町市営住宅:2戸 ・堀込町市営住宅:1戸 ・上渋垂町市営住宅:2戸 ・島田町市営住宅:3戸 ・福富町市営住宅:2戸 ・新山西市営住宅:1戸 計:6市営住宅11戸 ④足利市営住宅	7,260,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による解雇等により、住宅の退去を余儀なくされた方などの市営住宅への入居状況。 【令和3年3月31日現在】 ・4世帯(内)本事業修繕住戸への入居:2世帯	R2年度	建築住宅課
52	単	消防・救急活動感染防止対策事業費	①救急出動、救助出動時に隊員及び患者等への感染防止対策に必要な資機材の整備。 ②③ N95マスク(1箱100枚入り) @28,750円×9×1.1=284,625円、感染症防止マスク(50枚入り) @600円×300×1.1=198,000円、@800円×200×1.1=176,000円、冷却ベスト @5,000円×30×1.1=165,000円、感染防止用ゴーグル @960×174×1.1=183,744円、感染防止用手袋 @11,000×55ケース×1.1=665,500円、シューズカバー @17,600×1箱×1.1=19,360円、車載オゾン装置用フィルター・UVランプ・発生器 @27,500×5セット×1.1=151,250、人工鼻(50個入り) @38,000×6箱×1.1=250,800円、消毒用エタノール @16,000×9箱×1.1=158,400円、除菌シート @11,100×10ケース×1.1=122,100円、オゾン水生成装置 @719,750円×4台×1.1=3,166,900円、殺菌消毒ロッカー @210,000円×4台×1.1=924,000円、オゾン発生器(ポータブル) @261,500円×4台×1.1=1,150,600円、うがい器 @132,000円×3台×1.1=435,600円、非接触式赤外線体温計 @5,000×5×1.1=27,500円 ④-	8,079,379	救急資器材の整備により、救急出動及び救助出動時、隊員及び患者家族等への感染防止対策に効果があった。	R2年度	警防指揮課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
53	単	公民館等感染症対策事業	① 公民館来館者への感染症拡大防止 ②③ ・防護服 @2,420×4着×20施設=193,600円 ・手指消毒液 @12,980×5個×20施設=1,298,000円 ・消毒液(備品用) @1,126.4×10本×20施設=225,280円 ・サーキュレーター @14,322×2個×20施設=572,880円 ・アクリル製パーテーション @5,258×3基×20施設=315,480円 ④-	2,605,240	○窓口業務の継続、安心利用への寄与 感染のリスク低減により、市民の日常生活上必要な納税等の窓口業務を継続することができた。また、利用者も安心して窓口を利用できるようになった。 ○貸館事業の継続、安心利用への寄与 感染のリスク低減につながり、施設の貸館利用を継続することができ、また利用者も安心して利用できるようになり、地域のコミュニティの維持や文化活動の充実に役立った。	R2年度	生涯学習課
54	単	リモート講座設備整備事業	① コロナ禍でも社会教育の推進を図るため、社会教育施設等で行われた講座等を録画し、その記録を希望者に貸し出すことで、自宅での学習機会の増加を図る。併せてポストコロナを見据えリモート講座実施に向けた環境整備を行う。 ②③ ○録画設備 ・動画撮影用カメラ @48,389×9個=435,501円(税込み) ・カメラ固定用三脚 @4,818×9個=43,362円(税込み) ・指向性收音ワイヤレスマイク @17,930×9個=161,370円(税込み) ・撮影用照明器具 @4,840×9個=43,560円(税込み) ○貸出用視聴設備 ・ポータブルDVDプレーヤー @9,988×18個=179,784円(税込み) ・録画用DVD-R 500枚分 13,750円(税込み) ○動画編集設備 ・動画編集用パソコン @129,800×1台=129,800円(税込み) ・動画編集用ソフト @12,540×1個=12,540円(税込み) ④-	1,019,667	○リモート講座のモデル事業実施 乳幼児講座(6公民館合同)を動画配信により実施。参加者は、感染の不安や他の参加者への気兼ねをすることなしに、安心して受講することができ、満足度が高かった。 ○学級講座担当職員のノウハウの蓄積 導入した機器を活用して、リモート講座の企画研究や、動画の録画、編集、配信の方法を研究するなど、次年度以降のリモート講座実施に向けて、職員のノウハウの蓄積に寄与している。	R2年度	生涯学習課
55	単	市立図書館感染症対策事業	① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館者の発熱の有無を調べるほか、デスクパネルを設置して、感染リスクの低減を図る。 ②③ ・サーマルカメラ @307,780×1台=307,780円 ・デスクパネル @9,680×2台=19,360円、@4,587×1台=4,587円 合計23,947円 ④市立図書館	331,727	サーマルカメラを設置することにより、発熱者を客観的に確認することができ、コロナ感染予防に努められるようになった。 また、調査相談室の新聞閲覧机にデスクパネルを設置し、感染リスクの低減を図った。	R2年度	市立図書館
56	単	市立図書館蔵書充実事業	① 在宅で過ごす時間を少しでも有意義に過ごしてもらうため、図書館の蔵書を増やし、より多く貸出せるようにするもの。 ②③ ・図書購入費 5,267冊 9,603,991円 ・本棚1台 @396,000×1台=396,000円 ④市立図書館	9,999,991	本館、移動図書館あわせて5,267冊の図書を購入。在宅時間を楽しく過ごせるよう健康づくりや趣味の本、小説など多くの分野の図書をそろえた。 また、児童書用書架を購入し、児童室により多くの図書を置けるようにした。	R2年度	市立図書館
57	単	市立小中学校GIGAスクール構想整備事業	① 令和2～4年度の3ヶ年で推進するGIGAスクール構想整備事業について、補助対象外の児童・生徒及びその教師分のタブレットを前倒して整備する。 ②③ ●児童・生徒用等タブレット端末整備費用 合計:184,675,732円 ○「3人に1台分」(地方単独事業)のうち未整備分 ・タブレット本体 @45,000×3,181台=143,145,000円 ・その他端末に関する経費 @2,149×3,181台=6,835,969円 ○国庫補助対象外経費及び教師分(自治体整備分) ・タブレット本体 @45,000×423台=19,035,000円 ・その他端末に関する経費 @2,149×7,287台=15,659,763円 ④-	184,675,732	・GIGAスクール構想の実現を前倒して行うことができたことにより、学校休業時におけるオンライン授業の実現を初めとする教育のICT化を早期に図るための基礎を作ることができた。	R2年度	学校管理課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
58	単	市立小中学校体育館トイレ改修事業(小学校)	① 感染症予防の観点から、避難所である市立小学校体育館トイレの衛生環境改善のために和便器の洋式化を実施する。 ②③ ・小学校体育館トイレ 洋式化工事60か所、污水配管改修工事1か所 18,553,700円 ④-	18,553,700	・市立小学校体育館トイレの和便器を洋便器にすることによって、感染症予防対策を図った。 ・非常災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設である学校体育館トイレが洋便器になることにより、地域住民の利用の際にも利便性が図られた。	R2年度	学校管理課
59	単	市立小中学校体育館トイレ改修事業(中学校)	① 感染症予防の観点から、避難所である市立中学校体育館トイレの衛生環境改善のために和便器の洋式化を実施する。 ②③ ・中学校体育館トイレ 洋式化工事26か所 7,302,900円 ④-	7,302,900	・市立中学校体育館トイレの和便器を洋便器にすることによって、感染症予防対策を図った。 ・非常災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設である学校体育館トイレが洋便器になることにより、地域住民の利用の際にも利便性が図られた。	R2年度	学校管理課
60	単	学校臨時休業対策補助金	① 小中学校の臨時休業により、給食用食材がキャンセル出来なかった食材費を支払った足利市学校給食会に対し補助金を支給する。 ②③ 4月キャンセル不可食材(フランクフルト) 675,318円 ④ 足利市学校給食会	675,318	保護者から預かった学校給食費が原資となっている足利市学校給食会会計に補助金が支給されたことにより、安定的な学校給食の提供を維持することができた。また、キャンセルできなかった食材は、市内の教育施設や福祉施設に引き取ってもらい、食品ロスを防ぎ有効活用することができた。	R2年度	学校給食室
61	単	市民プラザ文化芸術公演支援事業	① 市民プラザにおいて指定管理者が主催する公演事業について、密状態を避け(観客数を1/2に減らす)ながら、公演事業の収益の確保、芸術文化の振興を図るため、販売チケット代の60%を補助する。 ②③ ・市民プラザ主催公演 2公演分 598,000円 ④ (公財)足利市みどり文化・スポーツ財団	598,000	当初9公演の補助を予定していたが、公演の中止等により2公演分の補助を行い、コロナ禍において円滑に公演を行うことができた。	R2年度	文化課
62	単	市民会館文化芸術公演支援事業	① 市民会館において指定管理者が主催する公演事業について、密状態を避け(観客数を1/2に減らす)ながら、公演事業の収益の確保、芸術文化の振興を図るため、販売チケット代の60%を補助する。 ②③ ・市民会館主催公演 1公演分 386,000円 ④ (公財)足利市みどり文化・スポーツ財団	386,000	当初6公演を補助を予定していたが、公演の中止や公演内容の変更等により1公演の補助を行い、コロナ禍において円滑に公演を行うことができた。	R2年度	文化課
63	単	市民プラザ感染症対策空調設備改修工事	① 文化芸術公演の実施に伴い、多くの観客が集まる文化ホールについて、換気機能の向上等、感染症対策として空調の強化を図る。 ②③ ・総額 215,050,748円 ④ 足利市民プラザ	215,050,748	空調の換気機能を向上したことにより、不特定多数が利用する文化ホールにおいて、感染症対策ができた。コロナ禍においても、安心して文化芸術公演を実施することができた。	R3年度	文化課
64	単	硬式野球場観客用トイレ改修事業	① コロナウイルス感染症を予防するため、感染リスクが比較的高いと考えられているトイレについて、より感染リスクの低い洋式化を図るもの。 ② ・トイレ洋式化 4ヶ×2か所 ・トイレブース 1ヶ×2か所 ・トイレブース調整 1式×2か所 ・給排水調整 1式×2か所 ③ 総合運動場トイレ改修工事一式 6,078,492円 ④-	6,078,492	不特定多数に使用されるトイレにおいて、洋式化を図ったことにより、より感染リスクを低くすることができたと考えられる。	R2年度	市民スポーツ課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
65	単	総合運動場内公衆トイレ改修事業	① コロナウイルス感染症を予防するため、感染リスクが比較的高いと考えられているトイレについて、より感染リスクの低い洋式化を図るもの。 ② ○テニスコート南屋外トイレ ・トイレ洋式化 3ヶ ・トイレ(小) 1ヶ ・トイレブース 1ヶ ・トイレブース調整 1式 ・トイレベビーチェア 1ヶ ○総合運動場北屋外トイレ ・トイレ洋式化 2ヶ ・トイレブース 1ヶ ・トイレブース調整 1式 ③ 総合運動場トイレ改修工事一式 2,941,508円 ④-	2,941,508	不特定多数に使用されるトイレにおいて、洋式化を図ったことにより、より感染リスクを低くすることができたと考えられる。	R2年度	市民スポーツ課
66	単	児童生徒読書推進事業(小学校)	① 学校図書館蔵書の充実や児童へ図書カードNEXTを配付することにより、児童の読書への興味関心を高め、豊かな心を育み、学力の向上を図る。 ②③ ・学校図書館貸出用図書購入費(市立小学校) 12,995,971円 ・図書カードNEXTの配付(市内小学校在籍児童を対象(特別支援学校小学部を含む)) @1,000×6,613人=6,613,000円 ・配布用封筒 15,678円 ④学校図書館貸出用図書購入費:市立小学校 図書カードNEXTの配付:令和2(2020)年9月1日現在市内小学校在籍児童(特別支援学校小学部を含む)	19,624,649	・貸出用図書の購入により、学校図書館環境の充実が図られ、休み時間に多くの児童が足しげく図書室に通ったり、新しい本に興味を示し手にしたりする姿がよく見られ、児童の読書への興味関心を高めることができた。 ・国語の教科書で紹介されている本や同じ作者の本などを購入したところ、授業においても活用ができ、学力向上が図られた。 ・児童自身が購入した本を学校に持参し、朝読書の時間に読むなど、配布された図書カードを有効に活用できた。	R2年度	学校教育課
67	単	児童生徒読書推進事業(中学校)	① 学校図書館蔵書の充実や生徒へ図書カードNEXTを配付することにより、生徒の読書への興味関心を高め、豊かな心を育み、学力の向上を図る。 ②③ ・学校図書館貸出用図書購入費(市立中学校) 7,086,000円 ・図書カードNEXT(市内中学校在籍生徒を対象(私立中学校及び特別支援学校中学部を含む)) @1,000×3,757人=3,757,000円 ・配布用封筒 8,918円 ④学校図書館貸出用図書購入費:市立中学校 図書カードNEXTの配付:令和2(2020)年9月1日現在市内中学校在籍生徒(私立中学校及び特別支援学校中学部を含む)	10,851,918	・貸出用図書の購入により、学校図書館の充実が図られ、新しく購入された本から貸し出されていったり、貸出用図書の利用率が上昇したり、生徒の読書への興味関心を高めることができた。 ・生徒は、読書用の本だけでなく、参考書等の購入をするなど、配布された図書カードを有効に活用できた。	R2年度	学校教育課
68	単	ICT支援員配置事業	① 小中学校のGIGAスクール構想の実施に当たり、ICT支援員を中学校区に1名配置し、授業への活用方法の検討等、タブレット整備の準備及び整備後の活用推進を図る。 ②③ 委託料 @2,970,000×5ヶ月=14,850,000円 ④各小中学校(33校)	14,850,000	市内全小中学校を巡回する事で、日常の校務の支援やコンピュータ室等における学習支援など、ICT活用に関する支援を行うことができた。また、GIGAスクール構想による環境整備が進む中、令和2年度現在の学校ICT環境を整備、確認したり、充電保管庫の設定や端末の収納、大型提示装置の活用促進に取り組むなど、多岐にわたり学校を支援する事ができた。	R2年度	教育研究所
69	単	中学校三年生学習支援事業	① 中学校3年生に、教科書に準拠したオンライン学習を配付し、Wi-Fi環境のない生徒については、タブレット(通信費)を貸し出すことで、家庭でオンライン学習ができる環境づくりを支援する。 ②③ ・ルーター @9,900×87台=861,300円 ・ルーター宅配納品費(Wi-Fi端末・ACアダプタ)9,662円 ・通信費 @1,650×87台×4ヶ月=574,200円 @1,650×48台×2ヶ月=158,400円 ・学習ソフト(スタディサプリ) @5,830×1,174人=6,844,420円 ・タブレット端末 @12,210×87台=1,062,270円 ④市内中学三年生	9,510,252	中学3年生全員にアカウントを付与することで、授業の遅れに対応するだけでなく、受験対策として活用された。また、GIGAスクールの無線LANの環境が整備されるまでの間、不登校傾向の児童生徒の学習支援を行うことができた。	R2年度	教育研究所
70							

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
71	補	子ども・子育て支援交付金	① 「放課後児童クラブ利用料補助金」 放課後児童クラブの密を避けるため、市の自肅要請に基づきクラブの利用を自肅した保護者に対し、自肅日数×日割り額（おやつ代除く）を支給するもの。 ② 子ども子育て支援交付金補助割合 国1/3県1/3市1/3負担分のうち、市分1/3 ③ 期間：4月～6月間の3か月間 延べ1,411人 ④ 放課後児童クラブ利用児童の保護者 対象施設 39クラブ（民間クラブのみ）	10,828,714	放課後児童クラブの密を避けるため、市の自肅要請に基づきクラブの利用を自肅した保護者に対し減免制度を実施し、利用者の負担軽減を図るとともにクラブの収入減少に伴う運営の支援を図った。	R2年度	児童家庭課
72	補	学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る）	① 小中学校感染症予防対策のため、マスクや消毒液等を購入するもの。 ②③ 10,045人×340円＝3,415,300 学校保健特別対策事業費補助金1/2 ④ 市内33小中学校	3,418,424	感染症対策に必要な消毒液等を購入することにより小中学校の感染症予防対策を行うことができた。	R2年度	学校管理課
73	補	学校保健特別対策事業費補助金（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る）	① 感染症予防対策のためのマスク・消毒液等の購入費用及び学習支援のための消耗品及び備品の購入費用 ②③ 学校規模に応じ1校あたり100万円・150万円・200万円 学校保健特別対策事業費補助金1/2 ④ 市内33小中学校	42,646,716	感染症対策に必要な消毒液等を購入することにより小中学校の感染症予防対策を行うことができた。 感染症対策を行いながら授業を行うために必要な備品等を購入することにより感染症予防対策を行うことができた。 学校休業における学習の遅れを取り戻すために必要な物品を購入することにより学習支援対策を行うことができた。	R2年度	学校管理課
74	補	文化芸術振興費補助金	① 施設内の感染症予防対策を講じ、安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③ サーマルカメラ等一式レンタル@97,500×6月×1.1＝643,500円、非接触型検温計購入@16,500×2台×1.1＝36,300円、補助率1/2 ④ 足利市民プラザ	679,800	入場者、利用者の検温を効果的に行うことにより、感染症対策を行うことができた。	R2年度	文化課
75	補	文化芸術振興費補助金	① 施設内の感染症予防対策を講じ、安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③ サーマルカメラ等一式レンタル@97,500×6月×1.1＝643,500円、非接触型検温計購入@16,500×2台×1.1＝36,300円、補助率1/2 ④ 足利市民会館	679,800	入場者、利用者の検温を効果的に行うことにより、感染症対策を行うことができた。	R2年度	文化課
76	補	文化芸術振興費補助金	①施設内の感染症予防対策を講じ、安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③サーマルカメラ等一式レンタル@97,500×2台×6月×1.1＝1,287,000円、非接触型検温計購入 @8,500×2台×1.1＝18,700円（文化課）、@16,500×4台×1.1＝72,600円（文化課2台、史跡足利学校2台）、フェイスシールドマスク購入@980×25枚×1.1＝26,950円（文化課）@900×15セット×1.1＝14,850円（史跡足利学校）、補助率1/2 ④足利市立美術館、史跡足利学校	1,420,100	入場者、利用者の検温を効果的に行うことにより、感染症対策を行うことができた。 参観者の検温並びに参観対応時における飛沫防止により、感染症対策を行うことができた。	R2年度	文化課 史跡足利学校事務所

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
77	補	母子保健衛生費補助金 (新型コロナウイルス感染症の流行下における妊産婦総合対策事業(オンラインによる保健指導等、育児等支援サービスに限る)、乳幼児健康診査個別実施支援事業に限る)	【オンラインによる保健指導】 ①妊産婦に対する感染症予防対策として、健康教育、健康相談をオンラインで実施する。 ②③タブレット2台 202,488円、キーボード3,960円、ヘッドセットスピーカーフォン等10,483円、浄書印刷代10,000円 計226,931円 ④オンライン相談対象者:妊産婦 【4か月児個別健診】 ①3密を避けるために、集団健診から医療機関委託個別健診に変更し、適切な時期に健診を受けられるようにする。 ②③健康診査委託料 @5,500円×202人分(12月～3月対象者分)1,111,000円 通信運搬費 @94円×180人=16,920円 計1,127,920円 ④ 対象者 R2.12～R3.3までの4か月健診対象児252人 委託先 足利市医師会に所属する指定医療機関	1,354,851	対面事業を中止する際に事業を滞らせず、妊産婦と健康教育健康相談が継続できる環境が整った。 4か月児健診を医療機関で受診することで、保護者が安心して健診を受けることができ、3密を回避しまん延防止に努めることができた。	R2年度	健康増進課
78	補	介護保険事業費補助金 (通いの場の活動自肅下における介護予防のための広報支援事業に限る)	① ・「介護予防事業対象者に対する自宅での介護予防取組み支援事業」 介護予防・日常生活総合支援事業の対象者に対して、活動自肅中に要介護状態になることを予防する。 チラシ作製750部。 ・「スマホ版『通いの場』の元気アップ事業」 活動自肅中に自宅においても健康を維持できるように、市ホームページ、自宅で出来るエクササイズ動画の検索方法等を周知すると同時に、スマホでのコミュニケーションにも取り組めるようにする。 チラシ作製2000部 ② 郵送料335,000円 手数料(DVDダビング代15,000円) 消耗品費163,402円 印刷製本費68,090円 ③ 介護予防・日常生活総合支援事業の対象者720人、76歳を迎える高齢者1858人に対して、チラシを郵送。「元気アップ☆DVD」希望した72人に、DVDを郵送。 ④ 介護予防・日常生活総合支援事業の対象者、76歳を迎える高齢者	581,492	「介護予防事業対象者に対する自宅での介護予防取組み支援事業」 介護予防・日常生活総合支援事業対象者においては、令和元年度に比べて、介護保険の認定を受けることになった割合が増え、広報支援のみでなく、早期に介入することの重要性が明らかになった。 生き生き元気のつどいが再開後は、189人の参加者があった。 「スマホ版『通いの場』の元気アップ事業」 72人から、元気アップ体操のDVDプレゼントの応募があった。 ホームページ内、体操ページの閲覧数は、通知を出した日から1週間位多くなり、4月の209件から5月316件と増加した。 「足すと」の利用者数が、4月の412人から5月1229人6月1461人と増加した。 自肅中の運動の実施につながった。	R2年度	元気高齢課
79							
80	補	学校臨時休業対策費補助金	① 学校給食の休止に伴い学校給食物資納入事業者に対してキャンセルできなかった食材に係る違約金 ②③ 学校給食物資納入事業者から請求のあった違約金相当額 違約金の合計額4,779千円の1/4である1,195千円を足利市が負担 ④ 学校給食物資納入事業者6業者	4,779,000	学校給食物資納入業者に対してキャンセルできなかった食材に係る違約金を支払ったことにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている学校給食物資納入業者を支援することができた。	R2年度	学校給食室
81	補	疾病予防対策事業費等補助金(新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業に限る)	① 外部からのウイルスの持ち込みを防ぐため、高齢者施設新規利用者のうち希望者に対し、事前にPCR検査等を実施することで、高齢者施設内での新型コロナ感染症の感染拡大を防止する。 ②③ 医療機関におけるPCR検査等費用@20,000×34人 ④ 高齢者施設を新規に利用(宿泊を伴うものに限る。)しようとする原則として65歳以上の者で、PCR検査等を希望するもの	680,000	高齢者施設新規利用者へPCR検査等を行うことにより、施設へのウイルス持ち込みを未然に防止し、クラスター発生などの感染拡大を防いでいる。令和2年度は34人(PCR検査34件)実施した。 検査の結果陽性であった事例の報告は受けていない。	R2年度	元気高齢課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
82	補	障害者総合支援事業費補助金（特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業）	① 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校への一斉臨時休業の要請に伴い、自宅等で1人で過ごすことができない障がい児がいる世帯における放課後等デイサービスの利用の増による利用者負担の増加に対する支援。 ② 臨時休業に伴い、当初の利用予定日数より多くのサービスを利用した場合や基本報酬単価が授業終了後の単価から学校休業日単価に切り替わることにより増加した利用者負担を補助するもの。 ③ 期間：4月～6月間の3か月間 延べ60人 ④ 放課後等デイサービス事業者による代理受領により保護者へ補助する。	89,533	特別支援学校等の臨時休業に伴い、保護者が仕事を休めない場合に自宅等で1人で過ごすことができない障がい児がいる世帯の放課後等デイサービスの利用増による利用者負担を財政支援することで、保護者の経済的負担を軽減した。	R2年度	障がい福祉課
83	単	市民会館感染防止機材整備事業	①施設内の感染症予防対策を講じ、安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③サーマルカメラ @227,000×1.1=249,700円 ④-	249,700	文化庁の補助事業終了後も入場者の検温を継続できるようになった	R2年度	文化課
84	単	市民プラザ感染防止機材整備事業	①施設内の感染症予防対策を講じ、安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③サーマルカメラ @227,000×1.1=249,700円 ④-	249,700	文化庁の補助事業終了後も入場者の検温を継続できるようになった	R2年度	文化課
85	単	市立美術館感染防止整備事業	①施設内の感染症予防対策を講じ、安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③サーマルカメラ @227,000×1.1=249,700円 ④-	249,700	文化庁の補助事業終了後も入場者の検温を継続できるようになった	R2年度	足利市立美術館
86	単	史跡足利学校感染防止機材整備事業	①施設内の感染症予防対策を講じ、安全確保と感染症のまん延を防止する。 ②③サーマルカメラ @227,000×1.1=249,700円 ④-	249,700	文化庁の補助事業終了後も参観者の検温（感染症対策）を継続できるようになった。	R2年度	史跡足利学校事務所
87	単	基幹系LAN整備事業費	① 市県民税の申告受付は、多くの市民が集まり、職員と市民が対話しながら行う必要があります。これまでの申告会場（公民館等）では、密となるため、より広い市民プラザ小ホールで出来るようLAN回線を敷設し、サテライトオフィスとしても利用可能とする ②③ 回線敷設委託料 @938,400×1式×1.1=1,032,240円 ④-	1,032,240	令和3年3月12日、15日に、市県民税申告会を実施。ソーシャルディスタンスを確保した会場設営ができたため、市民の方に安心して来場いただくことができた。	R2年度	情報政策課
88	単	非接触型体温計購入費補助事業	① 新型コロナウイルス感染予防を図るため、自治会に対して、非接触型体温計購入費の一部を補助する。 ② 非接触型体温計購入費の一部を補助する。購入費の1/2（上限5,000円）を交付する。 ③ 補助金交付自治会数…120自治会、総補助額…441,100円 ④ 市内自治会	441,100	本事業は222の自治会を対象に行い、120件（全体の約54%）の自治会に補助金を交付した。交付した自治会に聞き取りを行ったところ、「補助事業があることで、体温計の購入について自治会内での理解を得ることができ、体温計の購入をすることができた」という声が多かった。また、「体温計を置くことで、従来通りとまではいかないが、安心してできる限りの自治会活動を継続することができている」という声も多々聞いた。	R2年度	市民生活課
89							
90	単	窓口混雑状況案内システム	① 窓口混雑状況をリアルタイムでパソコンやスマートフォンから確認できるようにして、混雑時の来庁人数を抑制する。また、受付後、順番待ち状況をスマートフォンから確認できるようにすることで、離れた場所で待機でき、窓口周辺が密の状態になることを防止する。 ②③ 混雑状況配信機能付窓口案内システム（市民課・行政サービスセンター） 3,825,360円 市民課窓口案内システム導入に伴う配管設置業務委託料 165,000円 窓口案内システム導入に伴う配管設置業務委託料（行政サービスセンター分） 449,900円 ひかり回線導入作業委託料 69,960円 ④ -	4,510,220	来庁者が混雑状況をweb上で確認できるようになったことにより、入出が分散され窓口の混雑緩和が図られるようになり、感染リスクの軽減につながった。	R3年度	市民課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
91	単	自動釣銭機付きレジスター導入	① 手数料支払い時の金銭の受け渡しを抑えることで、感染リスクの軽減を図る。 ②③ 自動釣銭機付きレジスター（市民課2台、行政サービスセンター1台） レジ@2,145,000(税込)×3台=6,435,000円 保守料@5,500(税込)×3台×2か月=33,000円 ④-	6,468,000	セミセルフレジを導入し、手数料等の支払い時に支払者と職員間の現金の受け渡しが無くなったことで感染リスクが軽減され、安心して支払いをしていただくことができました。	R3年度	市民課
92	単	窓口等感染対策事業（市民課分、保険年金課分）	①窓口受付及び齋場において、来庁者及び対応職員への感染防止対策を講じる。 ②③ アルコールディスペンサー(1ℓ)@7,200×18個×1.1=142,560、乾電池単3(40本入)@3,400×2箱×1.1=7,480、アルコール消毒液(1ℓ)@3,436×10本=34,360(税込)、アルコール消毒液(1ℓ)@3,436×10本=34,360(税込)、ゴム手袋M(100枚入)@1,118×5箱×1.1=6,149、ペーパーふきん(30個入)@5,643×1箱×1.1=6,207、アルコール消毒液(1ℓ)@3,436×10本=34,360(税込)、アルコールタオル(本体)@679×18個=12,222(税込)、アルコールタオル(詰替)24個入@9,504×1箱=9,504(税込)、アルコール消毒液(1ℓ)3,436×10本=34,360(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)3,608×1本=3,608(税込)、アルコール消毒液(1ℓ)3,436×10本=34,360(税込)、ペーパーふきん(30個入)6,207×1箱=6,207(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)3,608×1本=3,608(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)4,950×2本=9,900(税込)、アルコール消毒液(500ml)2,332×11本=25,652(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)15,913×1本=15,913(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)3,608×1本=3,608(税込)、アルコール消毒液(500ml)10本入20,988×2箱=41,976(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)3,608×1本=3,608(税込)、飛沫防止パーテーション1,898×64枚×1.1=133,619、アルコール消毒液(5ℓ)2,750×3本×1.1=9,075、飛沫防止パーテーションA9,990×19枚×1.1=208,791、飛沫防止パーテーションB11,200×7枚×1.1=86,240、感染症防護服セット1,656×200セット×1.1=364,320、アルコールタオル(詰替)24個入9,124×1箱=9,124(税込)、ゴム手袋M(100枚入)1,800×10箱×1.1=19,800、ゴム手袋L(100枚入)1,800×5箱×1.1=9,900、アルコール消毒液(1ℓ)3,436×7本=24,052(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)15,913×1本=15,913(税込)、乾電池単3(40本入)3,400×2箱×1.1=7,480、アルコールタオル(詰替)24個入9,124×1箱=9,124(税込)、アルコール消毒液(1ℓ)3,436×29本=99,644(税込)、アルコールタオル(本体)594×5個=2,970(税込) アルコールタオル(詰替)24個入9,124×1箱=9,124(税込)、ペーパーふきん(30個入)7,040×1箱=7,040(税込)、アルコールタオル(本体)594×5個=2,970(税込)、アルコールタオル(詰替)24個入9,124×1箱=9,124(税込)、飛沫防止デスクパネル14,200×6枚×1.1=93,720、アルコール消毒液(1ℓ)3,110×100本×1.1=342,100、ペーパーふきん(30個入)6,400×3箱×1.1=21,120、アルコールタオル(本体)618×25個×1.1=16,995、アルコールタオル(詰替)24個入8,640×3箱×1.1=28,512、乾電池単3(200本入)15,540×1箱×1.1=17,094、アルコールディスペンサー(1ℓ)7,980×15個×1.1=131,670、アルコールディスペンサー(500ml)4,630×2個×1.1=10,186、アルコールタオル(詰替)24個入9,124×2箱=18,248(税込)、アルコール消毒液(5ℓ)4,950×2本=9,900(税込)、ゴム手袋L(100枚入)1,360×5箱×1.1=7,480、アルコール消毒液(1ℓ)3,321×100本×1.1=365,310、ペーパーふきん(30個入)6,420×4箱×1.1×28,248、アルコールタオル(本体)618×5個×1.1=3,399、アルコールタオル(詰替)24個入9,840×6箱×1.1=64,944、乾電池単3(200本入)15,540×1箱×1.1=17,094、アルコールディスペンサー(1ℓ)7,980×8個×1.1=70,224、ゴム手袋L(100枚入)1,360×5箱×1.1=7,480、アルコール消毒液(1ℓ)10本入33,184×5箱=165,920(税込)、足踏み式消毒液スタンド@9,810×3台×1.1=32,373円 ・感染予防アルコール消毒液@3,436(1ℓ)×30本=103,080、@3,333(1ℓ)×4本=13,332 ・感染予防アルコール消毒用オートディスペンサー@7,810(1ℓ用)×8台=62,480 ・感染予防アルコール消毒用オートディスペンサー用乾電池@8,797(単3アルカリ乾電池100本入)×2=17,594、@908(40本入)×2=1,996 ④-	3,148,811	市庁舎・齋場・行政サービスセンターにおいて、手指消毒や窓口等の消毒を積極的に実施することにより、市民及び職員の感染リスクの軽減が図られている。	R3年度	市民課 保険年金課
93	単	受付窓口感染対策事業	① 来庁者に対して、受付番号票を自動発券機により交付し、来庁者同士の接触のリスクを回避し感染拡大を防止する。 ②③ 発券機 @83,800×3台×1.1=276,540円、ロール紙 186,120円 ④-	462,660	受付待ちの来庁者が使用する番号札を自動発券機に変更したことで、スピーディーに番号札を使い回すことが無いよう、感染予防が図られ、来庁者の不安感を軽減し安心感をもって各種手続きを進めることができるようになった。	R3年度	保険年金課
94	単	生活路線バス感染症予防対策事業(継続)	① 生活路線バスの感染症予防対策に係る経費(マスク、消毒液、飛沫感染防止用備品、清掃費、社内教育等)に対し、奨励金を支給する。 ②③@100,000×11台=1,100,000円 ④ 足利中央観光バス(株)、足利タクシー(株)、関東自動車(株)足利営業所	1,100,000	No39の事業に引き続き感染症予防対策事業を実施した。事業の実施により、運転手からは「安心して乗務を行うことができる」、乗客からは「しっかりとした対策を実施してありがたい」といった声があった。	R2年度	市民生活課
95	単	自治会新型コロナウイルス感染症対策事業	① 自治会が実施する、感染症予防対策に係る経費(マスク、消毒液、飛沫感染防止用備品)に対し、奨励金を支給する。 ②③ @30,000×154自治会=4,620,000円、@50,000×49自治会=2,450,000円(203自治会、合計7,070,000円) ④ 市内自治会	7,070,000	本事業は222の自治会を対象に行い、令和3年3月から順次申請を受け付けを開始し、203の自治会に交付した。交付した自治会からは、「自治会活動を行う上で感染症対策は欠かせないものなので、ありがたい」、「消毒液などの消耗品は常時使うものなので、奨励金をいただいで大変助かる」などの声をいただいている。	R3年度	市民生活課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
96	単	雇用対策支援金（継続）	① 経営が厳しい中でも、「雇用調整助成金」を活用し労働者の雇用の維持を図ろうとする中小事業者を対象に、支援金を支給し雇用の維持を支援する。 ②③ 100件 × 100千円 ④ 市内中小企業者で雇用調整助成金の申請を行った事業所	5,300,000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業活動の縮小が余儀なくされる中でも、国の雇用調整助成金を活用する市内の中小企業者に対し支援金を交付することにより、労働者の失業予防及び雇用の維持を支援することができた。	R3年度	商業振興課
97	単	栃木県新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間短縮協力金負担金	① 緊急事態宣言に伴う、栃木県新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間短縮協力金に対する、市の負担金 ②③対象件数 1231件 ④ 市内営業時間短縮協力金対象飲食店	47,790,000	緊急事態宣言に伴う栃木県新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間短縮協力金に対する市の負担金	R3年度	商業振興課
98	単	緊急事態宣言に伴う売上減少中小事業者支援金	① 緊急事態宣言の影響により売上が減少した中小事業者に対する国からの補助金の上乗せを行うことで、中小事業者を支援する ②③ 上限：中小法人等100千円、個人事業者等50千円 補助率：国の補助額の1/4 対象件数 961件 ④ 国の売上減少中小事業者に対する一時金の支給された市内事業者	62,985,000	新型コロナ感染症拡大の影響を受けた中小事業者に対し、国の補助金の上乗せを行うことで、より手厚い支援を行った。	R3年度	商業振興課
99	単	新型コロナウイルス感染者日常生活用品支援事業	① 新型コロナウイルスに感染し、自宅で療養している方が外出せずに生活を継続できるように必要な日常生活用品を提供する ③ 基本物資（トイレトイレットペーパーなど）・希望物資（おむつなど） ④ 同居家族全員が新型コロナウイルスに感染または濃厚接触者となっている世帯のうち、家族や友人にも買い物を頼めない市民の方	1,555,061	新型コロナウイルス感染症拡大により、増加した感染者の自宅療養に対し、外出せずに生活を継続できること、また、そのことによる感染拡大の防止が図れた。	R3年度	商業振興課
100	単	中小企業等リース経費支援補助金	① コロナ禍において売上が減少している事業者の負担となっている固定経費（事業用設備のリース料）の一部を補助することにより事業の継続を図る。 ②③ 補助額：上限100千円（補助率1/2） 補助実績：122社 ④ 市内の中小企業者等（建設業・製造業に限る）	12,151,000	・固定経費であるリース料は設備等の運転の有無に関係なくかかる経費であり、当事業の補助により、負担軽減となった。	R3年度	工業振興課
101	単	宿泊施設活用テレワーク促進実証事業	① 感染予防のためテレワーク等の在宅勤務が導入したものの、通信環境や執務環境は必ずしも家庭内で整備されていないことが普及を妨げていると考えられることから、テレワーク環境の整った市内宿泊施設の利用者にアンケート協力をいただくことで安価な金額で提供し、市内需要や普及促進の課題把握のための実証事業を実施したもの。併せて、行動制限等により利用が減少している宿泊施設の利用促進を図る事業。 ②実証事業協力事業者が実証期間中テレワークプランを設定・提供し、利用者アンケートの回収する経費 募集要領にて、3,500円のテレワークプランを設定できる事業者を募集し、協定締結後の実証事業の経費負担分として3,000円を負担することで、利用者は500円の負担でプランを利用できる。 ③ 3,000円×594件分（実証期間2/19～6/30、利用者180人（※複数回利用者あり）） ④ 実証事業協力市内宿泊事業者（旅館業法第3条に基づく営業の許可を受けている者又はそれらに準ずる宿泊施設）	1,782,000	・実証期間中、一月あたり150件前後の利用があり、一部利用者は繰り返し利用していることから、市内宿泊施設の日中のテレワーク利用に一定の需要があることがわかった。 ・利用者アンケートの結果から、自宅での在宅勤務の執務環境に困難さを感じ、快適で仕事に集中できる外部の執務スペースの需要があることが分かった。 ・実証結果より観光利用とビジネス利用とのバランスを図りながら市内宿泊施設との意見交換を進め、個人利用できるオフィスの整備や賃料補助など新しい働き方を支援していくこととなった。	R3年度	工業振興課
102	単	足利渡良瀬ゴルフ場トイレ改修事業	① 新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、現在和式となっているトイレを感染リスクの低い洋式へ改修するもの。 ②③ トイレ便器更新4基、間仕切り改修 2,596千円 ④ -	2,596,000	現在和式となっている便器を洋式化したことにより、感染リスクを下げることができ、ゴルフ場利用者が安心して使用することができるようになった。	R3年度	市街地整備課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
103							
104	単	公民館等感染症対策事業(追加)	① 社会教育施設等来館者への感染拡大防止 ②③ 網戸設置経費(9ヶ所分) 2,387,550円 備品用消毒液4.5L @1,019円×200個×1.1=224,180円 アルコール消毒液 @3,380円×100個×1.1=371,800円 アルコール消毒液 @2,100円×140個×1.1=323,400円 布製品用除菌液 @4,970円×20箱×1.1=109,340円 ニトリル手袋 @5円×4,000枚×1.1=22,000円 ペーパータオル @69円×1300パック×1.1=98,670円 液体せっけん(ポンプ250ml) @237円×100本=23,700円、(業務用4L) @2,041円×9本=18,369円、 (詰替450ml) @283円×20本=5,660円 消費税 4,772円 計 52,501円 ④網戸工事:市内公民館6ヶ所、生涯学習センター、さいこうふれあいセンター、名草セミナーハウス/アルコール消毒液:市内公民館17ヶ所、生涯学習センター、さいこうふれあいセンター、市立図書館、市民プラザ/布製品用除菌液:生涯学習センター、市立図書館/ニトリル手袋:市内公民館17ヶ所、生涯学習センター、さいこうふれあいセンター/ペーパータオル:市内公民館17ヶ所、生涯学習センター、さいこうふれあいセンター、市立図書館、市民プラザ/液体せっけん:市内公民館17ヶ所、生涯学習センター、さいこうふれあいセンター、名草セミナーハウス	3,589,441	貸館事業の継続、安心利用への寄与、消毒や網戸の設置により、感染リスクの低減に繋がり、施設の貸館利用を継続することができ、また利用者が安心して利用できるようになった。	R3年度	生涯学習課
105	単	市立図書館感染症対策事業(追加)	① 読書室、調査相談室のテーブルに卓上パーテーションを設置することにより、利用者の飛沫を防止し、感染リスクの低減を図る。 ②③ アクリルパーテーション @2,200×40台×1.1=96,800円 アクリルパーテーション @1,645×20台×1.1=36,190円 アクリルパーテーション @6,580×5台×1.1=36,190円 抗ウィルスビニールシート @980×10m×1.1=10,780円 ④市立図書館	179,960	読書室・調査相談室等、利用者が比較的長時間滞在する場所に卓上パーテーションを設置することにより、感染リスクの低減を図った。1階貸出カウンターは利用者と立って対応するのでパーテーション等が設置できないため、ビニールカーテンを設置することにより、感染リスクの低減を図った。	R3年度	市立図書館
106	単	体育施設感染症対策事業	① 体育館トイレの衛生環境改善のため、和便器の洋式化を図る。 ②③ トイレ改修工事費 2,068,000円 ④ さいこうふれあいセンター体育館、三重体育館	2,068,000	不特定多数に使用されるトイレにおいて、洋式化を図ったことにより、より感染リスクを低くすることができたと考えられる。	R3年度	市民スポーツ課
107							
108	単	市民プラザ感染症対策事業	①文化施設の感染症防止対策及びオンライン講座やリモート会議に必要な機器整備を図る。 ②③ ベルトパーテーション @9,130円×20台=182,600円 サーマルカメラ @242,000円×1台=242,000円 大型モニター @80,960円×2台=161,920円 パソコン @117,975円×2台=235,950円 ④-	822,470	文化施設利用者の感染症防止対策及びオンライン会議に必要な機器を整備することができた。	R3年度	文化課
109	単	総合運動場感染症対策事業	① 運動施設トイレの衛生改善による感染リスクの低減、及びオンライン講座やリモート会議に必要な機器整備を図る。 ②③ トイレ改修工事費 6,369,000円 大型モニター @80,960円×1台=80,960円 パソコン @117,975円×1台=117,975円 光回線引き込み等事業委託 770,000円 ④ 総合運動場陸上競技場	7,337,935	不特定多数に使用されるトイレにおいて、洋式化を図ったことにより、より感染リスクを低くすることができたと考えられる。オンライン講座やリモート会議を行える環境の整備を行うことが出来た。	R3年度	市民スポーツ課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
110	単	投票所等感染症対策事業	① 選挙人、事務従事者、立会人が投・開票所内における感染対策を図る。 ②③ 使い捨てスリッパ @55×200足=11,000円 はがせる両面テープ @627×5ケ=3,135円 ディスペンサーALC @3,278×2ケ=6,556円 エポルタNEO電池 @1,144×1ケ=1,144円 テブラテープ12mm(5ケ入) @3,960×1ケ=3,960円 テブラテープ12mm(5ケ入) @4,620×2ケ=9,240円 テブラテープ12mm(5ケ入) @3,938×2ケ=7,876円 テブラテープ18mm(5ケ入) @5,610×3ケ=16,830円 テブラテープ18mm(5ケ入) @5,517×1ケ=5,517円 テブラテープ24mm(5ケ入) @5,610×2ケ=11,220円 テブラテープ24mm @1,174×5ケ=5,870円 ラバーグリップドライバーセット @1,280×3ケ=3,840円 養生テープクリア @240×5ケ=1,200円 再生クリヤホルダー @1,151×2ケ=2,302円 飛沫防止パーテーション @7,832×2枚=15,664円 折りたたみコンテナ @17,270×3ケ+送料1,351円=53,161円 折りたたみコンテナ @19,833×3=59,499円 手指消毒剤用スクエアボトル(5本組) @1,760×4組=7,040円 クリップペンシル @2.86×130,000本=371,800円 かんたんマイペット @891×8ケ=7,128円 養生テープ @17,748×2ケ=35,496円 養生テープ @6,824×1ケ=6,824円 養生テープ @31,020×5ケ=155,100円 業務用タオル雑巾 @8,639×2ケ=17,278円 業務用タオル雑巾 @8,558×2ケ=17,116円 POPスタンドT型クロームメッキ @690×1ケ=690円 POPスタンドT型クロームメッキ(10ケ入) @6,680×5ケ=33,400円 ニトリル手袋 @15.29×8,000枚=122,320円 ニトリル手袋 @9.625×6,000枚=57,750円 アルコール消毒液 @3932.5×40ケ=157,300円 アルコール消毒液 @4,279×20ケ=85,580円 大王リサイクルPPC用紙 @598.4×10冊=5,984円 防雨延長コード @2,178×1本=2,178円 防雨延長コード @4,158×2本=8,316円 SライトLWT5000 @9,878×1ケ=9,878円 SライトLWT5000 @9,900×2ケ=19,800円 PPC用紙A4 @598.4×37セット(37,000枚)=22,140円 PPC用紙A3 @1,196.8×5セット(5,000枚)=5,984円 テブラテープ18mm(5ケ入) @6,400×2ケ=12,800円 トナーカートリッジ @10,450×2本=20,900円 トナーカートリッジ @29,494×3本=88,482円 トナーカートリッジ @5,720×2本=11,440円 トナーカートリッジ @11,000×1本=11,000円 セロハンテープ小(2入) @163×30=4,890円 セロハンテープ大(50入) @3,878×1=3,878円 ④ -	1,514,522	投・開票所における感染防止対策を徹底することにより、投票人、事務従事者、立会人の感染や投・開票所におけるクラスターの発生を防止でき、安全・安心な選挙の執行に寄与した。	R3年度	行政委員会事務局選挙担当

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
111	単	新型コロナウイルス感染症救急搬送対策整備事業(追加)	<p>① 救急出動、救助出動時に隊員及び患者等への感染防止策に必要な資機材の整備。</p> <p>②③ <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止衣リユース(上) @16,482円×360着=6,408,072円、感染防止衣リユース(下) @8,602円×360着=3,406,392円(上下合計:9,814,464円) ・N95マスク@89.1円×4400枚=392,040円 @127.6円×3600枚=459,360円 ・N95マスク(排気弁付き)@132.81円×1560枚=207,183円 @218.9円×840枚=183,876円 ・感染防護セット@2,427.7円×300セット=728,310円 @2,948円×200セット=589,600円 ・養生テープ@280.5円×20個=5,610円 ・養生シート(1.6m×30m)@52.8円×300=15,840円 ・ペーパータオル@2733.46円×24箱=65,603円 ・ベッドサイドモニター用マンシェット@4,675円×6個=28,050円 @51,425円×1箱=51,425円 ・シューズカバー@12.1円×16500枚=199,650円 ・救急車用シートカバー@110,000円×3セット=330,000円 ・救急バック@43,450円×6個=260,700円 ・アイソレーター用吸引ホース@5,643円×3本=16,929円 ・アイソレーター用HEPAフィルター@76,230円×3個=228,690円 ・アイソレーター用紫外線殺菌灯@56,430円×3個=169,290円 ・アイソレーター用カプセル式@495,000円×2式=990,000円 ・車載オゾン発生器プレフィルター@583円×5個=2,915円 ・車載オゾン発生器用紫外線ランプ@17,600円×5個=88,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・車載オゾン用オゾン発生器@14,080円×5個=70,400円 ・炭酸ガス充填料@2,750円×6本=16,500円 ・トランスバック用ULPAフィルター@37,400円×10個=374,000円 ・トランスバック用交換バッグ@76,780円×10個=767,800円 ・ニトリルPFグローブ@825円×70箱=57,750円 @638円×70箱=44,660円 ・感染防止衣(上)@913円×200枚=182,600円 ・感染防止衣(下)@528円×200枚=105,600円 ・エタノール缶@27,885円×20缶=557,700円 ・人工鼻@41,800円×2箱=83,600円 ・うがい液@10,890円×12箱=130,680円 @17,600円×4箱=70,400円 ・手指消毒液(5L)@11,110円×20個=222,220円 ・ビデオ喉頭鏡イントロック@24,750円×3箱=74,250円 @37,400円×3箱=112,200円 ・除菌クロス(本体)@2,178円×12個=26,136円 ・除菌クロス(詰替え)@1,174円×88個=103,285円 ・手指消毒液(500ml)@1,595円×100個=159,500円 ・バッグマスク@40,304円×6個=241,824円 <ul style="list-style-type: none"> ・消毒用アルコール綿@638円×30箱=19,140円 @935×70箱=65,450円 ・人工呼吸用エアークッションマスク@1,122円×35個=39,270円 @6,336円×8個=50,688円 @6,732円×4個=26,928円 @7,216円×3個=21,648円 ・LT@13,090円×15箱=196,350円 ・医療廃棄物処理委託@2,530円×123箱=311,190円 ・オゾン発生器@274,450円×2台=548,900円 ・ターボリン担架@9,900円×6枚=59,400円 ・噴霧消毒器@422,400円×3台=1,267,200円 ・アイソレーター用バッテリー@96,030円×3個=288,090円 ・自動心臓マッサージ器/バッテリー@73,920円×8個=591,360円 ・電子体温計(低体温計)@10,890円×6本=65,340円 ・手動式血圧計@15,048円×5台=75,240円 ・パルスオキシメーター@12,650円×5台=63,250円 </p> <p>④-</p>	21,918,064	救急資器材の整備により、救急出動及び救助出動時、隊員及び患者家族等への感染防止対策に効果があった。	R3年度	警防指揮課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
112	単	感染防止資機材等整備事業	① 妊婦・乳幼児及び高齢者が来所する保健センター等での検温測定を実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防する。また、市民や医療機関に配布するマスクや防護服等を備蓄する倉庫を設置する。 ②③ サーマルAIカメラ @312,400×1台 空気清浄機 @31,075×1台 プレハブ倉庫 @880千円×1台 @935千円×1台 ④-	1,278,475	サーマルAIカメラを設置し、入館前に検温を実施することで安心して保健センターを利用できるようにした。保健センターに空気清浄機を設置することで、ウイルスを除去し、感染まん延を防止を図った。感染防止のために使用する資機材を備蓄・保管する倉庫を保健センターの近くに設置し、必要時、迅速に活用できるようになった。	R3年度	健康増進課
113	単	職員等感染症対策事業（追加）	① 職場や事業場において感染者、濃厚接触者がでた際、職場等の消毒作業による感染リスクから職員を守るため、消毒に必要な物品を備える。 ②③ 防護服等セット 285,175円 N95マスク 93,500円 消毒用アルコール 1,243,110円 ④-	1,621,785	感染リスクから職員を守ることができた。	R3年度	人事課
114	単	リモート会議環境整備事業（追加）	① リモート会議に備え、光回線化を図り、通信環境を整備する。 ②③ 光回線化工事 @8,427,400×1式(25施設)×1.1=9,270,140円 こども館光回線化工事 @790,000×1式(2施設)×1.1=869,000円 LAN配線工事 @220,000×20施設×1.1=4,840,000円 ④-	14,979,140	市有施設27施設の光回線化工事を実施したことで、遠隔地にいる相手とすぐにコミュニケーションを取れるリモート会議を利用できるようになり、業務効率の向上、交通費等の経費削減、疫病感染リスクの低減等のできるようになった。	R3年度	情報政策課
115	単	住民向けLINEサービス事業	① 地方自治体向けのLINE無料公式アカウントの取得及び機能拡張を業務委託により構築し、ICTを活用した情報発信力を強化することで、住民サービスの向上を図る。 ②③ システム構築費用 @620,000×1式×1.1=682,000円 ④-	682,000	住民向けのLINEサービス（問い合わせ用チャットボットや、LINEでのメッセージ通知等）を構築し、市役所と市民とのコミュニケーション手段を拡充したことで、利便性の向上となった。	R2年度	情報政策課
116	単	障害者福祉施設従事者抗原定量検査等実施事業	①外部からのウイルスの持ち込み及び感染拡大を防ぐため、障害福祉施設職員及び利用者のうち希望者が抗原検査を受けられる体制を整える。また、陽性者等に対して初診料を支援する。 ②③【R2度】抗原定量検査@9,000円×424人×1.1=4,197,600円 陽性等初診料@1,850円×1人=1,850円 【R3度】抗原定量検査@8,300円×2,109人×1.1=19,255,170円 陽性等初診料 9人分 29,100円 抗原検査キット配布事業@18,980円×60箱×1.1=1,252,680円 抗原検査キット配布事業2回目@18,939円×240箱×1.1=4,999,896円 ④医師会、障害福祉施設、陽性又は擬陽性と判定された受検者	29,736,296	障害福祉施設職員及び利用者への抗原定量検査を行うことにより、施設へのウイルス持ち込みを未然に防止し、クラスター発生などの感染拡大を防いだ。また、受検控えによる感染拡大を防止するために、感染後の診察等についても一定額の助成を行うこととし、積極的に受検のできる体制を整えた。令和2年度の検査は424人、令和3年度の検査は2,109人実施した。	R3年度	障がい福祉課
117	単	あっしーネット利用者PCR検査等費用助成事業	①外部からのウイルスの持ち込みを防ぐため、あっしーネット（地域生活支援拠点）利用者に対し、PCR検査等の費用を助成する。 ②③PCR検査@20,000円×0人=0円 抗原検査キット 27,272円 ④あっしーネット利用者	27,272	あっしーネット緊急時支援事業の利用者に対し、PCR検査等の費用を助成し、施設へのウイルスの持ち込みを防止する体制を整備したことで、緊急時の受け入れ事業の継続が図れた。	R3年度	障がい福祉課
118	単	障害者福祉施設従事者応援事業	① 新型コロナウイルス感染のリスクを抱え、精神的、身体的な消耗、負担を負いながら、市内の障害者福祉施設に従事した方及び、市外の障害者福祉施設に従事した市民に対して、1万円の応援慰労金を支給する。 ②③ 給付額 @10千円×1,585人=15,850千円 申請書等印刷代 3千円 郵送代 16千円 ④ 緊急事態宣言（令和3年1月14日から令和3年2月7日）中に、市内の障害者福祉施設に従事した方及び足利市の住民基本台帳に登録されている方で市外の障害者福祉施設に従事した方	15,868,784	施設に従事している方に対しては、少しでも仕事へのモチベーションを上げることができ、大変励みになるとの声をいただいた。事業主に対しては、雇用の維持に貢献することができた。また、施設に従事している方のうち対象となる要件を幅広く設けたことで、多くの方を支援することができた。	R3年度	総合政策課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
119	単	高齢者福祉施設従事者抗原定量検査等実施事業	<p>①外部からのウイルスの持ち込み及び感染拡大を防ぐため、高齢者福祉施設職員等のうち希望者に対し、抗原定量検査を受けられる体制を整え、陽性等に対して、初診料等を支援する。 また、抗原検査キットの配布については、高齢者福祉施設に配布することで、施設が必要な時に検査を行えるような体制づくりを支援する。</p> <p>②③ 令和2年度 抗原定量検査@9,000円×1,406人×1.1=13,919,400円、陽性等初診料等14人=27,050円 令和3年度 抗原定量検査@8,300円×3,460人×1.1=31,589,800円、陽性等初診料等19人=43,720円 抗原検査キット@18,980×160箱×1.1=3,340,480円、 抗原検査キット@18,939×240箱×1.1=4,999,896円</p> <p>④医師会、高齢者福祉施設、陽性又は擬陽性と判定された受検者</p>	53,920,346	<p>高齢者福祉施設職員及び利用者への抗原定量検査は、施設へのウイルス持ち込みを未然に防止し、クラスター発生などの感染拡大を防いだ。また、受検控えによる感染拡大を防止するために、感染後の診察等についても一定額の助成を行うこととし、積極的に受検のできる体制を整えた。</p> <p>令和2年度の検査は1406人、令和3年度の検査は3,460人実施した。</p> <p>また、抗原検査キットの配布については1回目、2回目ともに市内高齢者福祉施設に配布した。抗原検査キットは施設が、感染が疑しき者に対して、いつでも臨機応変に検査することができるため、第6波時には、感染しても入院も儘ならず施設内療養者が増える中、いち早く感染者把握し、ゾーニングすることができ、感染拡大防止につながった。</p>	R3年度	元気高齢課
120	単	市民体育館感染症対策事業	<p>①市民体育館の感染症防止対策、及びオンライン講座やリモート会議に必要な機器整備を図る。</p> <p>②③ ベルトパーテーション @9,130円×40本=365,200円 消毒噴霧器 @40,145円×2台=80,289円 大型モニター @80,960円×1台=80,960円 パソコン @117,975円×1台=117,975円 光回線引き込み等業務委託 605,000円</p> <p>④市民体育館</p>	1,249,424	オンライン講座やリモート会議を行える環境の整備を行うことが出来た。	R3年度	市民スポーツ課
121	単	高齢者福祉施設従事者応援事業	<p>①新型コロナウイルス感染のリスクを抱え、精神的、身体的な消耗、負担を負いながら、市内の高齢者福祉施設に従事した方及び、市外の高齢者福祉施設に従事した市民に対して、1万円の応援慰労金を支給する。</p> <p>②③ 給付額 @10千円×4,198人=41,980千円 申請書等印刷代 4千円 郵送代 57千円</p> <p>④緊急事態宣言(令和3年1月14日から令和3年2月7日)中に、市内の高齢者福祉施設に従事した方及び足利市の住民基本台帳に登録されている方で市外の高齢者福祉施設に従事した方</p>	42,041,308	施設に従事している方に対しては、少しでも仕事へのモチベーションを上げることができ、大変励みになるとの声をいただいた。 事業主に対しては、雇用の維持に貢献することができた。 また、施設に従事している方うち対象となる要件を幅広く設けたことで、多くの方を支援することができた。	R3年度	総合政策課
122	単	医療機関等支援事業(追加)	<p>①2回目の緊急事態宣言下で新型コロナウイルス感染のリスクを抱えながら業務を続けてきた市内医療関係団体等に対する慰労金。</p> <p>②③ 足利市医師会 10,000千円 足利歯科医師会 4,000千円 足利薬剤師会 1,000千円 足利看護師会 500千円 足利歯科衛生士会 500千円</p> <p>④足利市医師会、足利市歯科医師会、足利薬剤師会、足利看護師会、足利歯科衛生士会</p>	16,000,000	コロナ禍における逼迫している医療従事者に対し、市内の医療機関支援策として交付を行い、各医療機関において更なる医療体制等の整備に役立てていただくことができた。	R3年度	健康増進課
123	単	民間保育所等従事者応援事業(追加)	<p>①新型コロナウイルス感染のリスクを抱え、精神的、身体的な消耗、負担を負いながら、市内の放課後児童クラブや児童養護施設、母子生活支援施設、保育施設等に従事した方及び、市外の同様の施設に従事した市民に対して、1万円の応援慰労金を支給する。</p> <p>②③ 給付額 @10千円×1,320人=13,200千円 申請書等印刷代 1千円 郵送代 18千円</p> <p>④緊急事態宣言(令和3年1月14日から令和3年2月7日)中に、市内の放課後児童クラブ、児童養護施設、母子生活支援施設、保育施設等に従事した方及び足利市の住民基本台帳に登録されている方で市外の同様の施設に従事した方</p>	13,259,594	施設に従事している方に対しては、少しでも仕事へのモチベーションを上げることができ、大変励みになるとの声をいただいた。 事業主に対しては、雇用の維持に貢献することができた。 また、施設に従事している方うち対象となる要件を幅広く設けたことで、多くの方を支援することができた。	R3年度	総合政策課

No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③実績値（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費【円】	事業の効果	事業終了年度	担当課
124	単	妊婦応援給付金(追加)	① 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、感染症への不安で大変な思いをされている妊婦に対し、安心して妊娠期を過ごし、出産、子育てに臨めるように、その感染予防対策費用として、5万円の応援給付金を給付する。 ②③ 給付額 @50千円×788人=39,400千円 申請書等印刷代 1千円 郵送代 203千円 消耗品 6千円 ④ 令和2年8月1日から令和3年7月31日までの間に母子健康手帳を交付された妊婦又は令和3年7月31日時点で妊娠4週以降を確認できる妊娠の届出をした妊婦(ただし、既交付者は除く)	39,609,884	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、昨年度実施の際は対象とならなかった妊婦の方を新たに対象とし、対象要件を緩和したことにより更に広く支援を行うことができた。 また、このような支援に対し妊婦の方からは、コロナ禍において励みになったという声が多かった。	R3年度	総合政策課
125	単	緊急対応型雇用創出事業(追加)	① 新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充及び雇止め又は内定取消しにあった者等の一時的な雇用を行う。 ②③ 令和3年4月から令和4年3月まで2名 報酬 3,248,000円 通勤費用弁償 66,000円 期末手当 563,314円 共済費 646,000円 ④-	4,523,314	新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充及び雇止め又は内定取消しにあった者等の一時的な雇用が行えた。	R3年度	人事課